

赤外線ブラスター 取扱説明書

HPB-039 RF受信-IR送出変換器
(送信リモコン:HPB-027RM11B)

目次

1. 機能・操作の概略	P.2
2. キー配置	P.3
3. きおく登録①	P.4~P.5
4. きおく登録②	P.6~P.7
5. マクロ登録	P.8~P.9
6. きおく登録の消去	P.10
7. マクロ登録の消去	P.10
8. オールクリア	P.11
9. 表示シール貼付け	P.11
10. 設置	P.12
11. 送信	P.12
12. インジケータ表示一覧	P.13
13. 故障かなと思ったら	P.14

1. 機能・操作の概略

(※ 詳細については、それぞれの機能参照願います。)

機能	操作	操作OKの場合	操作NGの場合
きおく登録① プラスター本体のシートキーに リモコン信号をきおく	1) 「きおく」長押し 2) 登録キー押下げ 3) リモコン信号入力 ※ きおく登録中止する 場合は「きおく」押下げ	きおくインジケータ点滅 きおくインジケータ点灯 きおくインジケータ消灯 きおくインジケータ消灯	きおくインジケータ5回点滅 きおく・マクロインジケータ5回点滅
きおく登録② プラスター本体のシートキーに リモコン信号をきおく	1) 「①」+「マクロ」長押し 2) 登録キー押下げ 3) リモコン信号入力 ※ きおく登録中止する 場合は「きおく」押下げ	きおくインジケータ点滅 きおくインジケータ点灯 きおくインジケータ消灯 きおくインジケータ消灯	きおくインジケータ5回点滅 きおく・マクロインジケータ5回点滅
マクロ登録 プラスター本体のシートキーに マクロ登録 キー間のインターバルを設定可能 設定しない場合はデフォルト値	1) 「マクロ」長押し 2) 登録キー押下げ 3) マクロ登録 4) 「マクロ」押下げ ※ マクロ登録中止する 場合は「マクロ」押下げ	マクロインジケータ点滅 マクロインジケータ点灯 マクロインジケータ消灯後、点滅 マクロインジケータ消灯 マクロインジケータ消灯	マクロインジケータ5回点滅 マクロインジケータ5回点滅
きおく登録消去 登録されているきおく1キー消去	(例)「④」のきおく登録消去 「きおく」+「④」長押し	きおくインジケータ2回点滅	きおくインジケータ5回点滅
マクロ登録消去 登録されているマクロ1キー消去	(例)「⑤」のマクロ登録消去 「マクロ」+「⑤」長押し	マクロインジケータ2回点滅	マクロインジケータ5回点滅
オールクリア 全てのきおく、マクロ消去	「きおく」+「マクロ」長押し	きおく・マクロインジケータ2回点滅	きおく・マクロインジケータ5回点滅
送信 登録キーの信号を送信	送信リモコンキー押下げ		
送信リモコンの面切替え 送信リモコンのA,B,C,D面切替え	リモコン「①」キー押下げ毎に 面切替え	送信リモコン インジケータ点滅回数 1回点滅=A面 2回点滅=B面 3回点滅=C面 4回点滅=D面	

2. キー配置

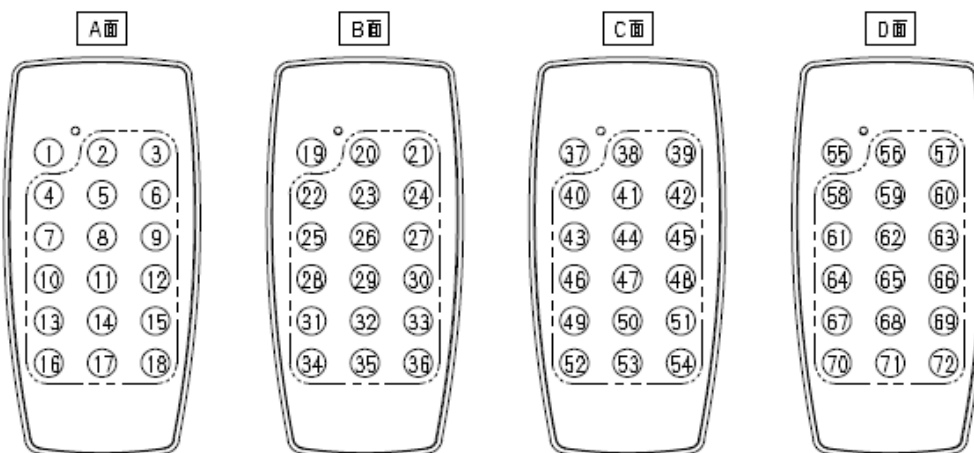
《 概要 》 送信リモコン(HPB-027RM11B)とブラスター本体内 シートキーの対応図です。
送信リモコンのキーを押すと、ブラスター本体にきおいた信号をブラスターに
接続したIRエミッターから送信します。

《 操作 》 例) 送信リモコンHPB-027RM11BのNo.3キーを押すと、ブラスター本体内A面
のシートキーNo.3キーにきおかせた信号が送信されます。
(送信リモコンの面切替え方法はP.12『11.送信』をご覧ください)

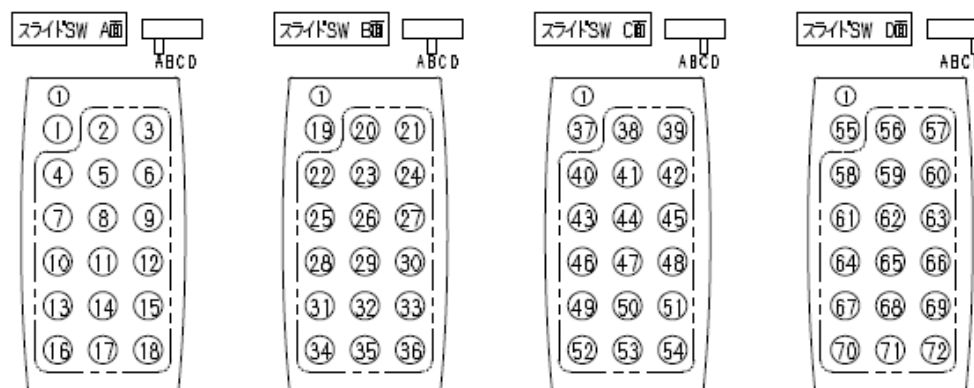
《 注意 》 送信リモコンHPB-027RM11Bのシートキーは18キー×4面(A,B,C,D)=72キー
ありますが、A面No.1キー、B面No.19キー、C面No.37キー、D面No.55キーの4キーは
面切替え専用キーですので、リモコン信号を送信することは出来ません。
ブラスター内シートキーA面No.1、B面No.19、C面No.37、D面No.55の
4キーにきおく登録をしても送信する事が出来ませんので、ご注意ください。

スライドSW位置(面)	A	B	C	D
送信(きおく登録)できるシートキーNo.	2~18	20~36	38~54	56~72
送信できないシートキーNo.	1	19	37	55

HPB-027RM11B キーNo.



ブラスター本体内 シートキーNo.



3. きおく登録① 判定きおく登録

- 《機能》
- ・リモコン信号を判定してきおくします。
 - ・キー1～17、スライドSW (A,B,C,D)4面切換により68キー分のきおくが出来ます。
 - ・すでにきおく済みのキーにはきおく出来ません。

- 《注意》
- ・きおく登録①できおく出来ない場合は、きおく登録②を試してください。
 - ・すでにきおく済みのキーに再度きおくさせるには、きおくクリアをした後にきおく登録してください。

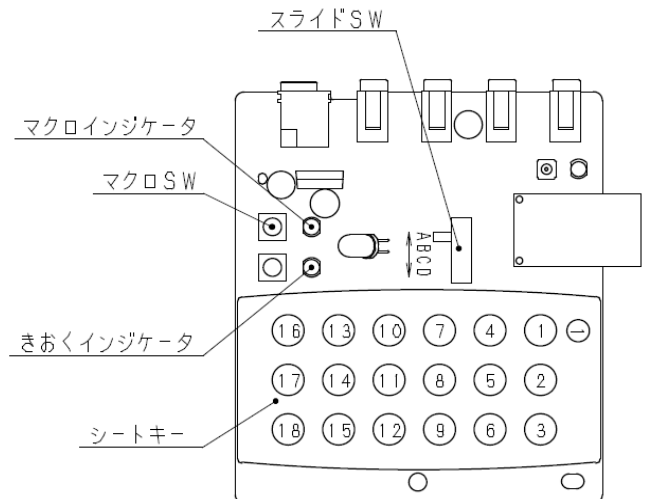
《操作手順》

1. ブラスター本体のケースを開けます。
2. ブラスター本体のきおくSWを3秒以上押します。
きおくインジケータがゆっくり点滅したら、手を離します。

3. ブラスター本体のスライドSWをきおくさせたい面(A,B,C,Dいずれか)に切替えます。

注意) 送信リモコンHPB-027RM11Bへの配置を考慮し、きおくするキーを決めてください。

4. ブラスター本体のシートキー2～18のうち、きおくさせたいキーを1つ押します。



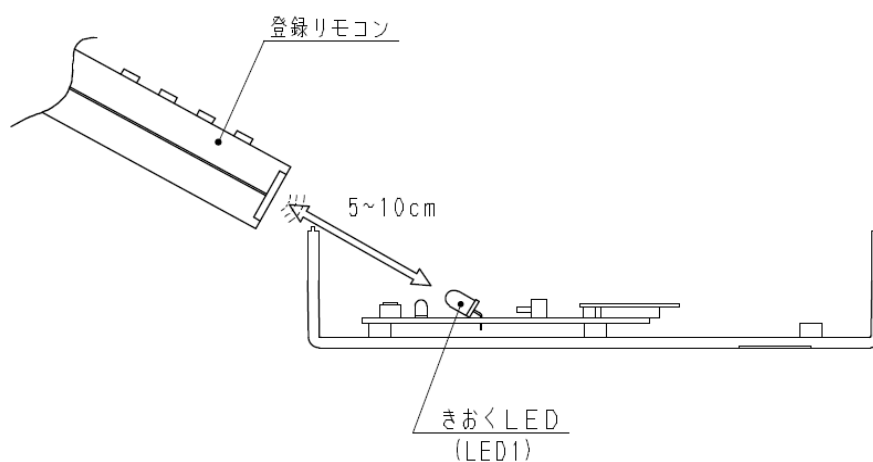
→きおくインジケータが点滅から点灯に変わります。

注意)

- ・A面No.1、B面No.19、C面No.37、D面No.55の4キーはきおく登録には使用出来ません。
- ・この状態で20秒間信号入力がない、又はきおくSWを押すと登録を中止し、通常状態となります。
- ・既にきおく登録済みのキーが押された場合、きおくインジケータが素早く5回点滅後、ゆっくり点滅に戻ります。その場合、他のキーを押してください。
- ・ノイズ等により正しくきおくモードに入れない場合、きおくインジケータとマクロインジケータが素早く5回点滅します。その場合は、周囲を少し暗くしたり、ブラスター本体の向きを変えたり、机上から5cm程度浮かせたりしてみてください。

5. きおくLED(LED1)に登録リモコンを向け、きおくさせたい機能のキーを長押しします。

- ・登録OK : きおくインジケータが約1秒消灯後、ゆっくり点滅します。
- ・登録NG : きおくインジケータ、マクロインジケータが素早く5回点滅後、きおくインジケータがゆっくり点滅します。
操作4から再度やり直してください。
その際、登録リモコンときおくLED(LED1)の距離を変えてみたり、角度を変えてみてください。



6. きおく登録を続ける場合は、操作3へ戻ります
きおく登録を終了する場合はきおくキーを押します。

4. きおく登録② 直接きおく登録 (きおく登録①できおく出来なかった場合に試してください)

- 《 機能 》
- ・リモコン信号をそのままきおきます。
 - ・きおく登録できる68キー中の任意のキーに最大40キー分のきおくが出来ます。残りのキーにはきおく登録①(判定きおく登録)が出来ます。
 - ・すでにきおく済みのキーにはきおく出来ません。

- 《 注意 》
- ・きおく登録②は、信号をそのままきおく、送信するものです。本来のリモコンと異なる動作をする場合があります。動作を確認してご使用ください。
 - ・キーを長押ししても、連続送信が出来ません。
 - ・すでにきおく済みのキーに再度きおくさせるには、きおくクリアをした後にきおく登録してください。

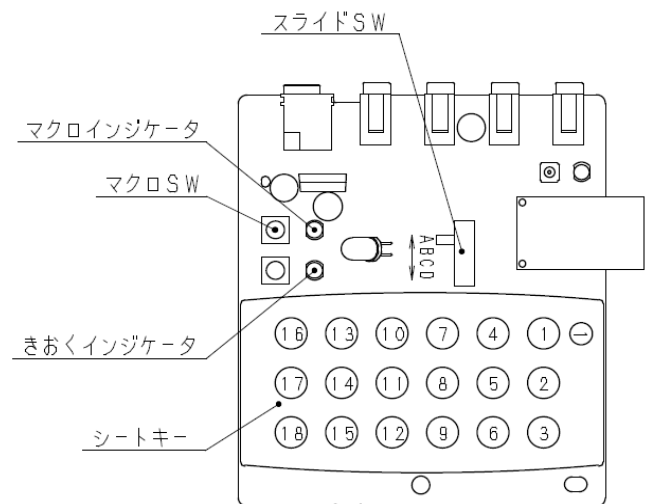
《 操作手順 》

1. ブラスター本体のケースを開けます。
2. ブラスター本体のマクロSWを押しながらシートキー1を3秒以上押します。きおくインジケータがゆっくり点滅したら、手を離します。

3. ブラスター本体のスライドSWをきおくさせたい面(A,B,C,Dいずれか)に切替えます。

注意) 送信リモコンHPB-027RM11Bへの配置を考慮し、きおくするキーを決めてください。

4. ブラスター本体のシートキー2~18のうち、きおくさせたいキーを1つ押します。



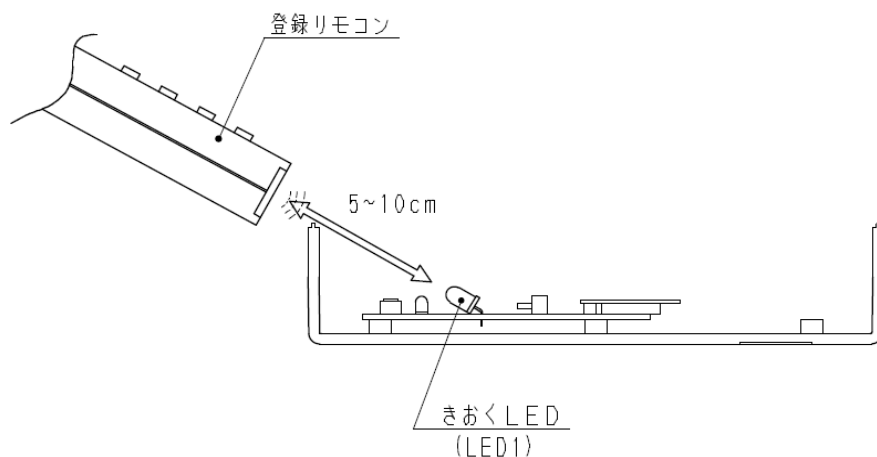
→→きおくインジケータが点滅から点灯に変わります。

注意)

- ・A面No.1、B面No.19、C面No.37、D面No.55の4キーはきおく登録には使用出来ません。
- ・この状態で20秒間信号入力がない、又はきおくSWを押すと登録を中止し、通常状態となります。
- ・既にきおく登録済みのキーが押された場合、きおくインジケータが素早く5回点滅後、ゆっくり点滅に戻ります。その場合、他のキーを押してください。
- ・ノイズ等により正しくきおくモードに入れない場合、きおくインジケータとマクロインジケータが素早く5回点滅します。その場合は、周囲を少し暗くしたり、ブラスター本体の向きを変えたり、机上から5cm程度浮かせたりしてみてください。

5. きおくLED(LED1)に登録リモコンを向け、きおくさせたい機能のキーを長押しします。

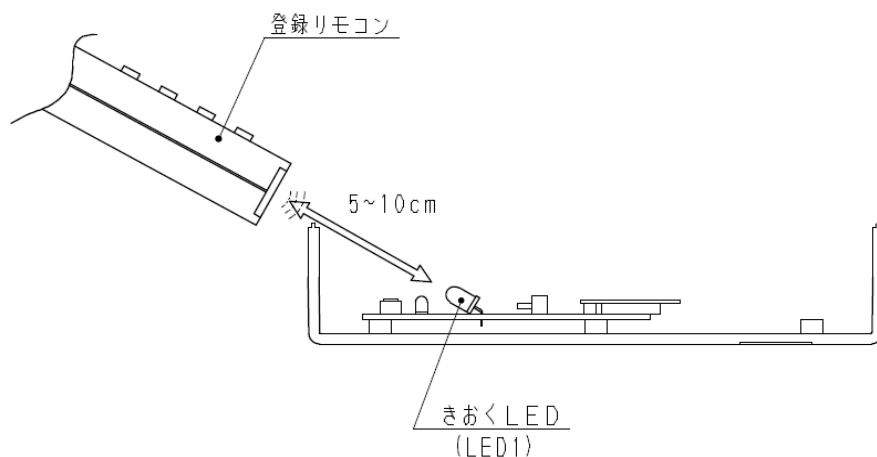
- ・登録OK : きおくインジケータが約1秒消灯後、ゆっくり点滅します。
- ・登録NG : きおくインジケータ、マクロインジケータが素早く5回点滅後、きおくインジケータがゆっくり点滅します。
操作4から再度やり直してください。
その際、登録リモコンときおくLED(LED1)の距離を変えてみたり、角度を変えてみてください。



6. きおく登録を続ける場合は、操作3へ戻ります
きおく登録を終了する場合はきおくキーを押します。

5. きおくLED(LED1)に登録リモコンを向け、きおくさせたい機能のキーを長押しします。

- ・登録OK : きおくインジケータが約1秒消灯後、ゆっくり点滅します。
- ・登録NG : きおくインジケータ、マクロインジケータが素早く5回点滅後、きおくインジケータがゆっくり点滅します。
操作4から再度やり直してください。
その際、登録リモコンときおくLED(LED1)の距離を変えてみたり、角度を変えてみてください。



6. きおく登録を続ける場合は、操作3へ戻ります
きおく登録を終了する場合はきおくキーを押します。

5. マクロ登録

- 《 機能 》
- ・マクロ送信機能とは1キー押すだけで、登録した数個のキーの送信信号を順番に続けて送信する機能です。
 - ・キー2～18×4面にマクロ登録できます。
 - ・送信信号間のインターバルを任意に設定できます。

- 《 注意 》
- ・1キーに登録できるマクロは最大10ステップまでです。
 - ・インターバル設定しない場合はデフォルト値となります。(デフォルト値は0.5秒)
 - ・すでにきおく・マクロ登録されているキーにはマクロ登録できません。

《 操作手順 》

1. マクロSWを3秒以上押します。

2. マクロインジケータがゆっくり点滅したら手を離します。

- ・この状態で20秒間ボタン入力がない、またはマクロSWを押すと操作を中断し、通常状態となります。

3. ブラスター本体のスライドSWをマクロ登録させたい面(A,B,C,Dいずれか)に切替えます。

4. ブラスター本体のシートキー2～18のうち、マクロ登録させたいキーを1つ押します。
この時マクロインジケータが点滅から点灯に変わります。

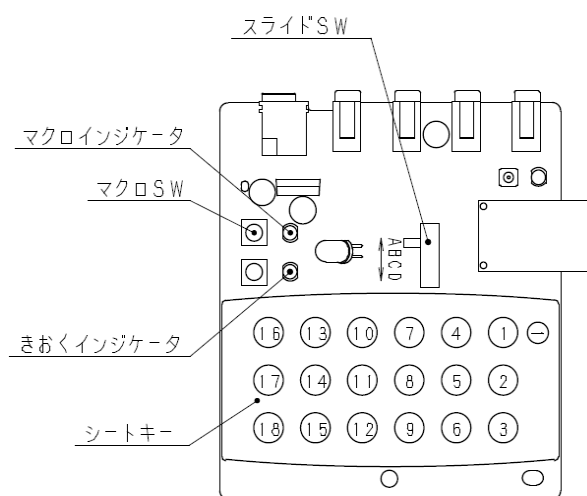
- ・既にきおく・マクロ登録してあるキーを押した場合、マクロインジケータが素早く5回点滅後ゆっくり点滅に戻ります。その場合、他のキーを押してください。

5. マクロ登録したいシートキーを順に押し、最後にマクロSWを押します。
違う面のシートキーを登録したい場合は、スライドSWで面切換え後にシートキーを押してください。

- ・登録OK : マクロインジケータが約1秒消灯後、ゆっくり点滅します。
- ・登録NG : きおくインジケータ、マクロインジケータが素早く5回点滅後、マクロインジケータがゆっくり点滅します。操作3から再度やり直してください。

- ・きおく登録されていないキーはマクロ登録できません。
- ・マクロ登録キー数が10ステップになると登録を終了し、操作3へ戻ります。

6. マクロ登録を続ける場合は操作3に戻ります。
マクロ登録を終了する場合はマクロSWを押します。



5. マクロ登録

- 《 機能 》
- ・マクロ送信機能とは1キー押すだけで、登録した数個のキーの送信信号を順番に続けて送信する機能です。
 - ・キー1～18×4面にマクロ登録できます。
 - ・送信信号間のインターバルを任意に設定できます。

- 《 注意 》
- ・1キーに登録できるマクロは最大10ステップまでです。
 - ・インターバル設定しない場合はデフォルト値となります。(デフォルト値は0.5秒)
 - ・すでにきおく・マクロ登録されているキーにはマクロ登録できません。

《 操作手順 》

1.マクロSWを3秒以上押します。

2. マクロインジケータがゆっくり点滅したら手を離します。

- ・この状態で20秒間ボタン入力がない、またはマクロSWを押すと操作を中断し、通常状態となります。

3. ブラスター本体のスライドSWをマクロ登録させたい面(A,B,C,Dいずれか)に切替えます。

4. ブラスター本体のシートキー1～18のうち、マクロ登録させたいキーを1つ押します。
この時マクロインジケータが点滅から点灯に変わります。

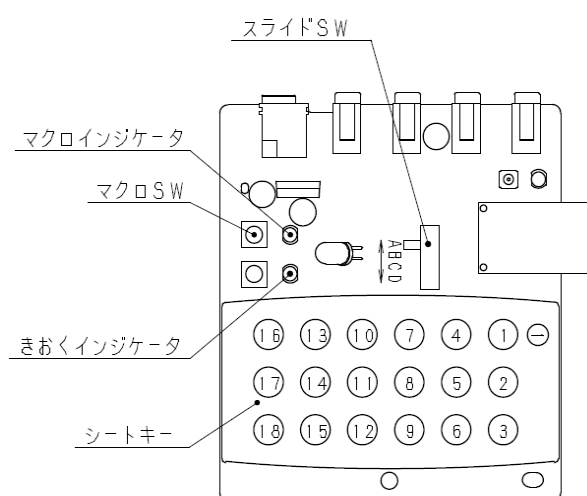
- ・既にきおく・マクロ登録してあるキーを押した場合、マクロインジケータが素早く5回点滅後ゆっくり点滅に戻ります。その場合、他のキーを押してください。

5. マクロ登録したいシートキーを順に押し、最後にマクロSWを押します。
違う面のシートキーを登録したい場合は、スライドSWで面切換え後にシートキーを押してください。

- ・登録OK : マクロインジケータが約1秒消灯後、ゆっくり点滅します。
- ・登録NG : きおくインジケータ、マクロインジケータが素早く5回点滅後、マクロインジケータがゆっくり点滅します。操作3から再度やり直してください。

- ・きおく登録されていないキーはマクロ登録できません。
- ・マクロ登録キー数が10ステップになると登録を終了し、操作3へ戻ります。

6. マクロ登録を続ける場合は操作3)に戻ります。
マクロ登録を終了する場合はマクロSWを押します。



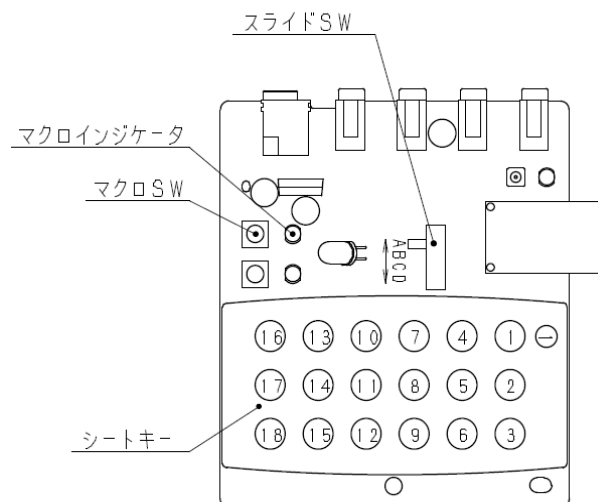
マクロ登録(続き)

★インターバル設定なし

例)きおく登録済みのA面シートキー「2」、「3」、「4」の順に3キーを、B面シートキー「5」にマクロ登録する場合インターバルはデフォルト値(0.5秒)

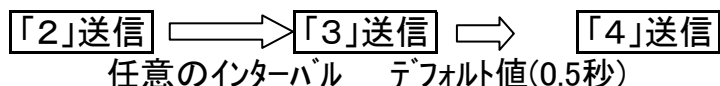
《 操作手順 》

- 1)マクロSWを3秒以上押します。
- 2)マクロインジケータがゆっくり点滅したら手を離します
- 3)スライドSWをB面に切替えます。
- 4)シートキー5を押します。
- 5)スライドSWをA面に切り替えます。
- 6)シートキー2を押します。
- 7)シートキー3を押します。
- 8)シートキー4を押します。
- 9)マクロSWを押します。
- 10)再度マクロSWを押して、終了します。



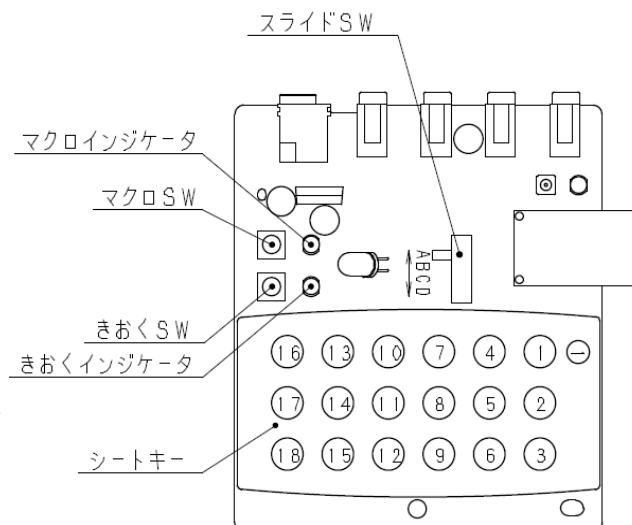
★インターバル設定あり

例)きおく登録済みのA面シートキー「2」、「3」、「4」の順に3キーを、B面シートキー5にマクロ登録。その際、「2」と「3」の間にインターバルを設定する場合



《 操作手順 》

- 1)マクロSWを3秒以上押します。
- 2)マクロインジケータがゆっくり点滅したら手を離します
- 3)スライドSWをB面に切替えます。
- 4)シートキー5を押します。
- 5)スライドSWをA面に切り替えます。
- 6)シートキー2を押します。
- 7)きおくSWを、設定したいインターバルの間押し続けます。
 - ・押している時間がインターバルになります。
 - ・押している間、きおくインジケータが点灯、離すと消灯します。
- 8)シートキー3を押します。
- 9)シートキー4を押します。
- 10)マクロSWを押します。
- 11)再度マクロSWを押して、終了します。



6. きおく登録の消去

《機能》 ・登録されているきおく登録を個別に消去します。

《注意》 ・マクロ登録に使用している登録キーを消去すると、マクロ送信時に送信されません。

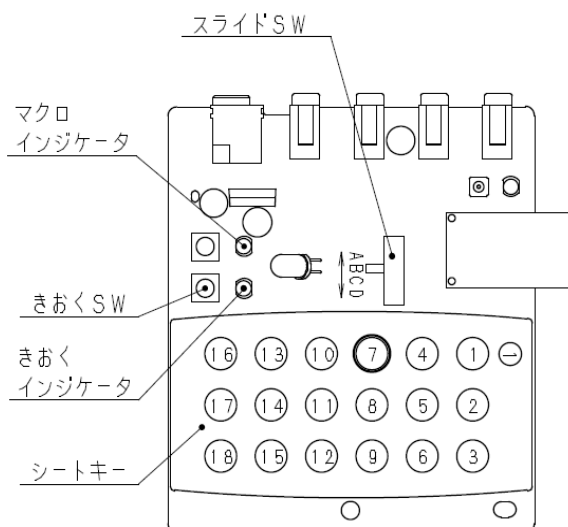
《操作手順》

消したい登録キーのある面にスライドSWを切り替えます。
きおくSWと消したい登録キーを同時に3秒以上押します。

- 例) B面「7」キーの登録内容を消去する場合
1. スライドSWをB面に切り替えます。
 2. きおくSWを先に押しながら「7」キーを押し、3秒以上押します。

消去OK : きおくインジケータが2回点滅します。
消去NG : きおくインジケータが5回点滅します。
再度試してください。

操作終了後は通常状態となります。



7. マクロ登録の消去

《機能》 ・登録されているマクロ登録を個別に消去します。

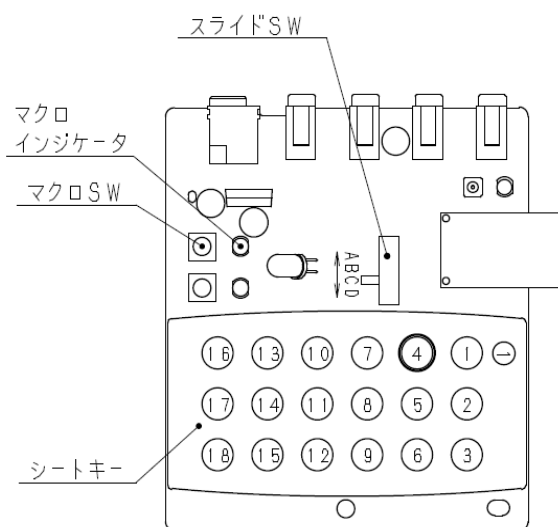
《操作手順》

マクロSWと消したい登録キーを同時に3秒以上押します。

- 例) C面の「4」キーの登録内容を消去する場合
1. スライドSWをC面に切り替えます。
 2. マクロSWを先に押しながら「4」キーを押し、3秒以上押します。

消去OK : マクロインジケータが2回点滅します。
消去NG : マクロインジケータが5回点滅します。
再度試してください。

操作終了後は通常状態となります。



8. オールクリア

《 機能 》 きおく登録、マクロ登録を全て一括で消去します

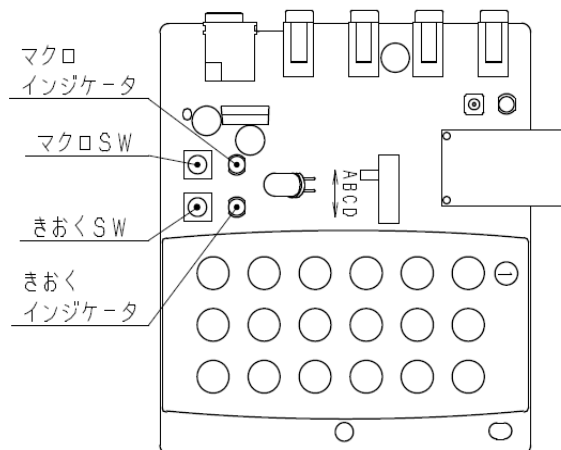
《 操作手順 》

きおくSW、マクロSWの順に押し、
2つのキーを同時に3秒以上押し続けます。

消去OK : きおくインジケータとマクロインジケータ
が2回点滅します。

消去NG : きおくインジケータとマクロインジケータ
が5回点滅します。再度試してください。

操作終了後は通常状態となります。



9. 表示シール貼付け

送信リモコンHPB-027RM11Bのどのキーに何の機能を「きおく」させたかを表示します。

◆ 適当な表示シールがある場合

付属の表示シールから、必要な表示をはさみ等で切り取って、お好きな場所へ貼り付けてください。

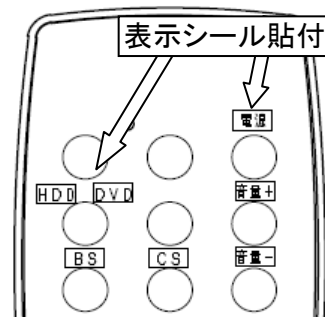
◆ 適当な表示シールがない場合

・紙に書いて貼付け

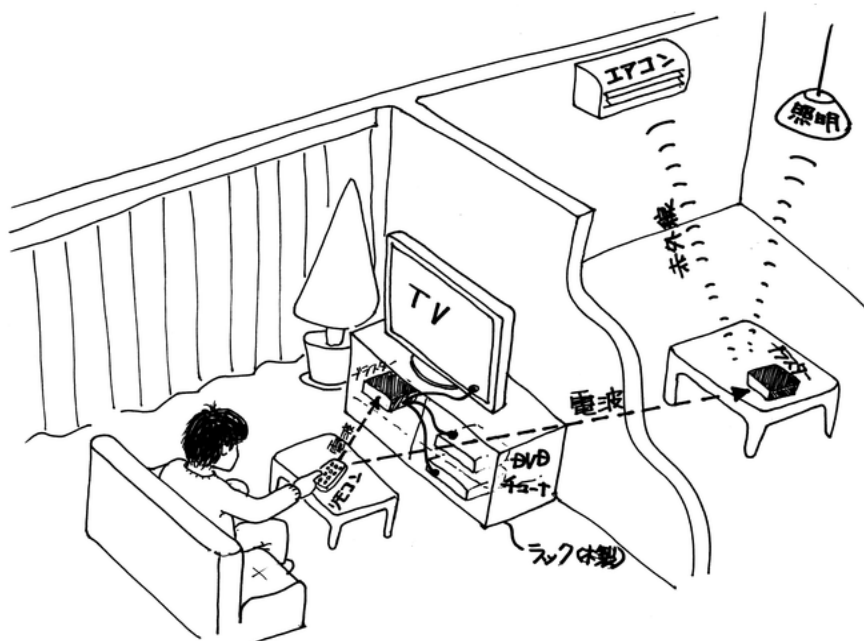
1. ご家庭にある用紙に表示名を書き、はさみ等で切り取ります。
2. 表示シールの余白部分を、切り取った表示名よりひとまわり大きくはさみ等で切り取ります。
3. 表示名をシールで覆うようにして、リモコンに貼り付けてください。
(保護シートとして使用)

・余白部分に書いて貼付け

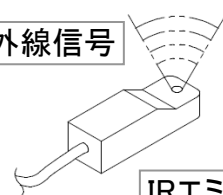
表示シールの余白部分に油性ペンで表示名を書き、はさみ等で切り取って貼り付けてください。
ただし、インクによっては書いた文字が消える場合がありますのでご注意ください。



10. 設置



赤外線信号



IRエミッタ

- ・送信リモコン(HPB-027RM11B)とブラスター本体は、見通し通信距離 約50mですが、壁などの遮蔽物があると通信距離が短くなりますのでご注意ください。
- ・ブラスター本体はAVラックの中など見えにくい場所に設置することができます。
- ・きおく登録した赤外線信号がIRエミッタの送信部から出力されますので、IRエミッタの送信部をご使用の機器の受光部に向けて固定してください。
- ・1個のIRエミッタで赤外線が届く範囲の機器を操作できますが、届きにくい場合はオプションでIRエミッタを追加してください。

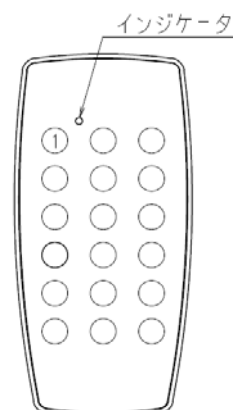
11. 送信

《機能》 ・きおく登録された信号を送信します。
(キー配置はP.3参照してください)

《操作》 ・送信リモコンHPB-027RM11BのキーNo.2～18を押すと、それに対応したブラスターにきおく登録した赤外線信号が、IRエミッタから送信されます。

《面切替え》 送信リモコンHPB-027RM11BのキーNo.1を押すごとに面が切り替わります。リモコンキーを押下げ時のインジケータの点滅回数で何面かがわかります。A面:1回、B面:2回、C面:3回、D面:4回 インジケータが点滅します。

《注意》 ・きおく登録①で登録した送信信号は連続送信できます。
・きおく登録②、マクロ登録した送信信号は連続送信できません。



12. インジケータ表示一覧

機 能	項 目	インジケータ表示
きおく登録①	① きおく登録NG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② きおく登録済キー押下げ	「きおく」5回点滅
	③ きおく登録OK	「きおく」消灯
きおく登録②	① きおく登録NG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② きおく登録済キー押下げ	「きおく」5回点滅
	③ きおく登録OK	「きおく」消灯
マクロ登録	① マクロ登録NG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② きおく登録のないキー押下げ	「マクロ」5回点滅
	③ マクロ登録済キー押下げ	「マクロ」5回点滅
	④ 登録OK	「マクロ」消灯
きおく登録消去	① きおくクリアNG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② きおく未登録キー押下げ	「きおく」「マクロ」5回点滅
	③ マクロ登録キー押下げ	「きおく」「マクロ」5回点滅
	④ きおくクリアOK	「きおく」2回点滅
マクロ登録消去	① マクロクリアNG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② マクロ未登録キー押下げ	「きおく」「マクロ」5回点滅
	③ きおく登録キー押下げ	「きおく」「マクロ」5回点滅
	④ マクロクリアOK	「マクロ」2回点滅
オールクリア	① オールクリアNG	「きおく」「マクロ」5回点滅
	② オールクリアOK	「きおく」「マクロ」2回点滅
送 信	① 登録済みの対応した送信リモコンキー押下げ	「LED4」1～2回点滅
	② 未登録キーの送信リモコンキー押下げ	「LED4」押している間点滅
インジケータ位置	<p style="text-align: center;">マクロインジケータ</p> <p style="text-align: center;">きおくインジケータ</p> <p style="text-align: center;">LED4</p>	

13. 故障かな? と思ったら

本機が正しく動作しない場合は、下記の項目をチェックして下さい。

それでも正しく動作しないときは、(株)ヘルツまでお問い合わせ下さい。

	症状	処置
1	きおくできない	<ul style="list-style-type: none"> ・きおくLEDに正しくリモコンを向かい合わせているか確認してください。 ・きおくモードに入っているか確認してください。 ・既に他のきおく登録されているキーにきおく登録できません。 ・きおく登録①で登録できなかった場合は、きおく登録②を試してください。 ・きおく登録する際に周囲を少し暗くしたり、ブラスター本体の向きを変えたり、机上から5cm程度浮かせたりして登録を行ってみてください。 ・スチール机の場合は木製の机の上で行ってみてください。
2	マクロ登録できない	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ登録モードに入っているか確認して下さい。 ・すでにきおく登録・マクロ登録されているキーにマクロは設定できません。 ・きおく登録されたキーしかマクロに登録できません。
3	信号が送信されない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくきおく登録されているか確認してください。 ・送信リモコンの電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗していると送信できません。
4	マクロが送信されない	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ登録がされているか確認して下さい。 ・マクロ登録に使用したキーに正しくきおく登録されているか確認して下さい。 ・送信リモコンの電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗していると送信できません。
5	きおくが消去できない	<ul style="list-style-type: none"> ・「きおく」キーを押しながら消去したいキーを押しているか確認してください。 ・消去しようとしているキーにきおく登録されているか確認してください。
6	マクロが消去できない	<ul style="list-style-type: none"> ・「マクロ」キーを押しながら消去したいキーを押しているか確認してください。 ・消去しようとしているキーにマクロ設定されているか確認してください。
7	オールクリアできない	<ul style="list-style-type: none"> ・キーを押す順序を間違えていないか確認してください。
8	反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ・きおく登録②できおとしたキーは、キーを押してから0.2秒ほど遅れて送信されます。 ・マクロ送信中は、他のキーの入力を受け付けません。
9	機器が反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ・きおく登録をやり直してみてください。 ・IRエミッタから赤外線信号が出ているか、デジタルカメラ等で覗いてみてください。 ・IRエミッタの送信部が機器の受信部に正しく向いているか確認してください。

リモコンに関するお問い合わせは・・・

株式会社ヘルツ 〒940-0084
 企画開発事業部 新潟県長岡市幸町1-9-1
 TEL : 0258-31-2375
 FAX : 0258-31-2376
 Mail : info1@hertz-e.co.jp
 URI : http://www.hertz-e.co.jp/

※お問い合わせは出来る限りメール又はホームページの方からお願い致します。

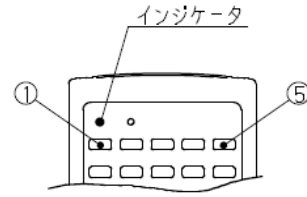
※よくあるお問合せ、解決方法などはホームページをご覧ください。 → <http://www.hertz-e.co.jp/>

ペアリングの設定

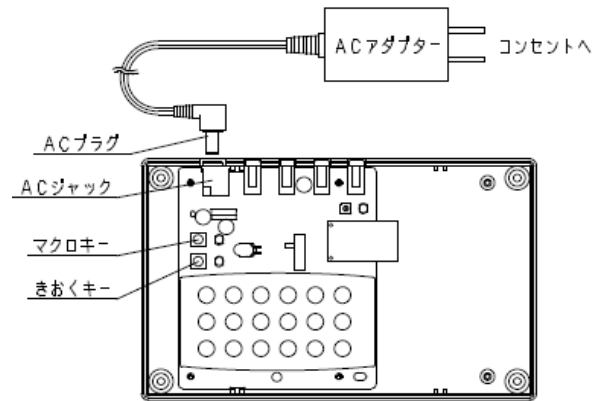
《機能》 ・ブラスター本体にリモコンを認識させます。

《操作手順》

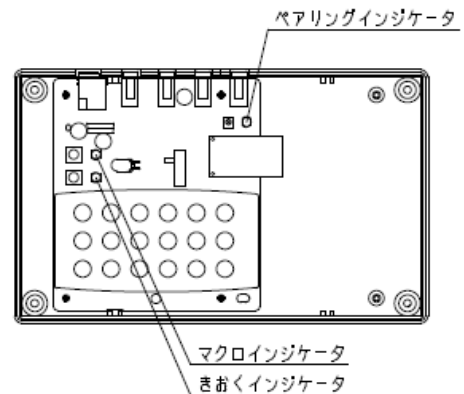
1. リモコンの①キーを押しながら⑤キーを長押し、インジケータが点灯したらキーを離します。



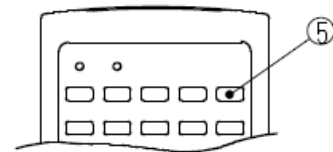
2. ブラスター本体のきおくSW、マクロSWを同時に押した状態でACアダプターをつなぎます。2つのSWはそのまま押し続けます。



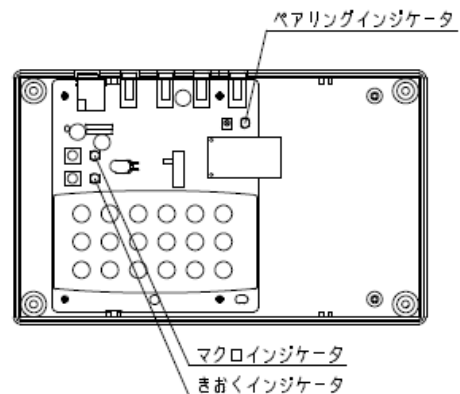
3. ブラスター本体のきおくインジケータ、マクロインジケータが1回点滅し、ペアリングインジケータが点灯したらキーを離します。



4. リモコンの⑤キーをチョン押しします。



5. ブラスターのペアリングインジケータが消灯し、きおくインジケータ、マクロインジケータが1回点滅します。



6. リモコンのインジケータも消灯します。
・1の操作から2の操作までに時間がかかり過ぎるとリモコンのペアリングモードがタイムアウトになります。この場合、最初からやり直してください。